

タウンミーティング 3 日目

日 時：平成 30 年 2 月 27 日（火） 午後 7 時～午後 8 時 30 分

会 場：地域交流センター リーベルホール

タウンミーティング 3 日目の質疑応答内容

<1 人目：男性>

- 北小の多くの父兄からはなぜ安生している小学校をなくすのかといった意見が出ている。また、父兄に対し、教育委員会から説明が全然ないとの意見がある。なぜ地元の学校に来て説明をしてくれないのか。
- 地形全体のことを調べたのか。去年の豪雨により、三郷町等では崖くずれが起きている。この課題がある地に建てる必要があるのか。ぜひ考え直してほしい。

<事務局>

○平成 27 年 12 月に「王寺町教育振興ビジョン」を策定し、その方針の中で小中一貫教育の推進を掲げている。大学教授はじめ地域住民による懇話会を設置し、王寺の今後の義務教育の在り方について議論いただいた結果、教育の質の向上、施設の老朽化している施設を整備することにより充実した学びの環境を提供できることから義務教育学校を設置すべきである提言をいただいた。このことを踏まえ、平成 29 年 2 月に基本方針を策定した。

- ・平成 28 年 11 月に 3 ヶ所でタウンミーティング開催し、187 名が参加。
- ・平成 29 年 1 月に 3 ヶ所でスクールミーティング開催し、174 名が参加。
- ・3 月に幼・小・中の学校の先生方に対し説明会を 1 回開催し、135 名が参加。
- ・4 月に幼・小学校を訪れ、保護者に対し説明会を 5 回開催し、509 名が参加。
- ・5 月に大学教授や有識者、先行校の先生方の生の意見を聴く場として講演会を開催し、160 名が参加。
- ・11 月に PTA の役員を募り、先行校の視察を実施。

今回のタウンミーティングを開催するまでに 15 回に渡り説明会等を開催し、約 1,300 人の方に参加いただいた。今後もパブリックコメントを実施する。基本計画策定後もより理解を得るため保護者への説明をしっかりと行う。

- 敷地の制約は多いのは事実。開発許可申請という県の技術基準があるため、基準を満たさなければならない。平成 30 年度にボーリング調査を行い、県の技術基準に則った整備をしていきたい。

〈2 人目：男性〉

○1,000人規模の学校で、もし避難する場合、先生の目が行き届かず、スムーズに避難できるかどうか心配である。

〈事務局〉

○文科省の指針の中にも児童生徒に目が行き届きやすくするようしっかり整理するよう明記されている。1つは教師ステーションであり、先生方がそれぞれのフロアに存在してもらい、目が行き届きやすくする。また避難する場合、廊下の幅や、階段の数についても配慮することで、スムーズに避難できるよう考慮する。

〈3 人目：女性〉

○平面図を見ると図書室がないように見える。

〈事務局〉

○メディアセンターに含まれている。先行校の事例を見ると多目的スペースに書棚を設けている学校もある。今後、学校施設はICTを含めて様々な設備に変わっていく、学習形態についても変わっていく。図書室についても基本設計の中で更に踏み込んだ形でつめていきたい。

〈4 人目：女性〉

○小学校から英語教育の導入や、道徳科授業、部活の問題もあるため、現場の先生方が大変になるのではないかと心配である。十分現場の声も聴いて進めてほしい。

〈事務局〉

○昨年7月に「王寺町義務教育学校推進委員会」を立ち上げ、教育課程、施設設備、総務(通学路等)のプロジェクトチームを配置している。プロジェクトチームには、学校の先生方にも入ってもらい議論を重ねている。また、基本計画(案)についても、将来にわたって利用しやすい学校をつくるために、校長・教頭先生が各学校に持ち帰り、先生方の意見を聴き、反映している。通学路についても先生たちが中心に案を作成し、PTA役員の方の意見も聴いた。基本計画だけでなく、様々な面で先生方や保護者の意見を取り入れている。

〈5 人目：男性〉

○造成で南の山林を削る際、雨水の問題や、里道があるため、今後の計画を立てる際は、私達(地域)の意見も聴いていただきたい。

〈事務局〉

○確かに里道の問題や、池の問題がある。これについてはもう少しお時間をいただいた上で、ご相談、ご説明にあがりたいと思っている。